

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第128号

nanae historical
museum collection

ななえ古写真物語

VOL. 128

ななえの工業

クレードル缶詰工場

昭和40年頃

本町地区



ひと昔前の七飯駅周辺は、工場地域だった。といっても、今はその面影がほとんどみられず、想像しがたいだろう。

「七飯町史」によると昭和35年に、資本金3億8千6百17万円をもって、協和醸酵株式会社七飯工場が創設され、同年9月に札幌清酒株式会社が一切を買収し、従業員40名により、焼酎などの製造が行われ、年間生産が3,200石（約576キロリットル）を出荷するほどになったという。また、その証拠に、平成の時代になってから、七飯駅周辺で土木工事がおこなわれた際に、土中から茶色の貯蔵用の焼酎甕が見つかった。おそらくは、生産した焼酎を収めるのに使われたものと推測するが、残念ながら中身は空だったので、詳細はわからないものの、町の工業をの足跡を示す資料であることから、当館の所蔵資料として保管している。

ところで、工場の写真も残されており、それには、線路のすぐ脇に設置され、長い煙突と思われるものが2本立ち並んでいる様子が写っている。おりしも、日本は高度経済成長期の最中。七飯町もその恩恵にあずかり、工場が増えていった時代だったが、今はもう見ることが出来ない風景となった。

また、昭和40年には、クレードル興農株式会社七飯工場の建設も始まった。工費1億7千万をもって鉄骨ブロック造り二階建ての工場のほか、事務所、食堂、浴場、女子寮・男子寮、社員宿舎などの建物が設置され、さながら、小さな町が作られたかのような感じだったという。

操業は翌41年から行われ、アスパラガス、スイートコーン、みかん、イチゴジャムなどの缶詰が製造され、最盛期には150名の従業員が働いていたという。特にアスパラガスやスイートコーンは、七飯町の農家との契約栽培によりまかなわれ、当町の基幹産業と結びついた同社の操業に、町産業の発展を期待していた。

しかし、昭和43年に設備投資の負担による経営不振から、一時「道南アスパラガス株式会社」と社名が変更になったり、七飯町の農家の人手不足や、アスパラガスからほかの作物への転換が進んだことから操業が困難となり、昭和50年には、UCC（上島珈琲株式会社）缶コーヒー専用工場となった。

上の写真は、工場の写真となるが、食堂や社員宿舎といった他の建物を示す資料はほとんどないのが現状である。写真などお持ちの方いたら、情報提供を頂ければ嬉しい限りである。

6日 夜の博物館第2夜、この日のお話は「駒ヶ岳と大沼・小沼の誕生」についてです。講師にお迎えしたのは、石川県立大学の雁沢氏。受講者の興味を引き込むお話が次々に飛び出します。1640年（寛永17年）の噴火は、どんな様子だったかを、古文書の記述から読み解き、記録をするという大切さが、わかりました。また、大きな噴火は、数日で収まるということ、噴火後すぐの湖の高さは、今より2メートルほど高かったのではないかと、地形や地質から学べる多くのことを、たくさん紹介して頂きました。



20・21日 第57回北海道博物館大会が七飯町で行われました。道内の学芸員や施設関係者が集まり、一日目の研究大会では、講師の宝井琴柑さんが講談の演じ方から「伝える」という技術を実践する幾つかの方法をお話しました。二日目は、エクスカーション。歴史館でテーマ展と常設展、収蔵庫の見学を行いました。普段のお客様よりも、うんと目が肥えた方々です、展示や施設に関する質問が多く寄せられ、関心の高さが窺えました。



27日 ジュニア探検クラブを行いました。「川であそぼう！」と題したプログラムは北斗市茂辺地川で川遊び。せっかく違う土地に来たのだから、と周辺の歴史を学ぶ散策から始めました。茂辺地煉瓦石製造所と開拓使のつながり、矢不來天満宮では狛犬のお話、また遺跡のある環境は、その土地や植生状況も含めて解説をしました。そしていよいよ川遊び。生きものを観察したり、ダムを作ったり、水をかけあつたりと、元気な子ども達の声が響いていました。少し前の昔は、よく見られた夏の子供の風景です。



9月の予定

1	土
2	日 テーマ展最終日
3	月
4	火
5	水 夜の博物館
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土 企画展開催予定
16	日
17	月 敬老の日
18	火
19	水
20	木
21	金
22	土
23	日 秋分の日
24	月 振替休日
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土 ジュニア探検クラブ
30	日

9月の休館日はありません

妖怪

学習室に入荷した本。カラー版で緻密に描かれた妖怪たち。水木さんは、文中で奇妙な方々に触れていただきたいと書いています。夏におすすめの一冊。



編集後記 ~tawagoto~

長雨がすぎ去ったかと思ったら、尋常じゃない暑さがやってきた。北海道はまだ涼しい方だろうが、全国的に40 近い気温の所が多くなったように思う。近年みられる極端な雪、暑さ、雨、風。四季の移ろいが、崩れてきているのではないかと、疑うほどだ。夏が長くなり秋が短くなった気さえする。一概に温暖化の影響とは考えたくないが、いずれにせよ、暑さにも寒さにも滅法弱い私にとっては、よろしくない事態である。（やまだひさし）

~ピチャリ~
Pichari

第128号

平成30年8月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp